

GPS 安全性要約書

カオーワックス EB-P

この製品安全性要約書は、一般社会へ化学物質の安全性情報の概要を提供するものです。この文章は、サプライヤーから提供される、用途毎に推奨される詳細な安全措置について記載されている安全データシート（Safety Data Sheet）に代わる文書として作成されたものではありません。また、製造者から提供される、この物質を含む消費者製品の使用説明書や警告に代わるものとして作成されたものでもありません。記載内容は、現時点で入手できる法令、資料、情報、データに基づいておりますが、いかなる保証をなすものでもありません。

1. 物質の特定名

商品名: KAO WAX EB-P
化学名: N,N'-Ethylenebis(stearamide)
CAS 番号: 110-30-5

2. 使用・用途と適用

KAO WAX EB-P は、脂肪酸アמיד系滑剤です。KAO WAX EB-P は、アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン樹脂（ABS 樹脂）、ポリスチレン（PS）及びそのコポリマー、ポリビニルクロライド（PVC）やポリオレフィン用の流動性を改善する潤滑剤やシェルモールドのための潤滑剤として使用されています。さらに KAO WAX EB-P は、軟質 PVC のブロッキング防止剤として使用されます。

成型加工されたこれらの樹脂は、家電、電気電子製品・部品、日用品、文具、家具や自動車部品などに使用されます。

3. 物理化学的特性

KAO WAX EB-P に物理化学的危険性は認められません。

特性	値・性状
物理的状态	微粉末
色	白色
臭い	わずかな（若干）特異臭
pH	7.2（1%懸濁液（n-ブタノール/水=9/1））

密度	0.59 g/mL (20 °C), 0.815g/mL (160 °C), 0.794 g/mL (190 °C)
融点 (流動点)	141.5 - 146.5 °C
沸点	情報無し
引火点	296 °C (クリーブランド開放式測定器)
可燃性 または爆発性	上限：情報無し 下限：情報無し
自然発火温度	情報無し
蒸気圧	13 Pa (25 °C)
水への溶解性	不溶
オクタノール/水分配係数 (Log Kow)	情報無し
粘度 (粘性率)	10 mPa·s (160 °C), 5 mPa·s (190 °C), 4 mPa·s (200 °C)

4. ヒト健康影響

入手可能なデータから、KAO WAX EB-Pはヒトに対して有害性は示さないと考えられます。

アセスメント項目	結果
急性毒性：経口/経皮	実使用上、経口/経皮暴露後の毒性はありません。単回暴露後に、特定の臓器に対して毒性を示すこともありません。
刺激性/腐食性：皮膚/眼	入手可能なデータから、皮膚や眼への刺激性/腐食性はないと考えられます。
感作性	入手可能なデータから、皮膚感作性はないと考えられます。
繰り返し暴露による毒性	実使用上、長期または繰り返しの経口暴露により毒性を示さないと考えられます。
遺伝毒性	入手可能なデータから、遺伝毒性はないと考えられます。
発がん性	入手可能なデータから、発がん性はないと考えられます。
生殖発生毒性	入手可能なデータから、生殖発生毒性は示さないと考えられます。

5. 環境影響

水生生物に対する毒性試験において、KAO WAX EB-P の有害な影響は観察されませんでした。下水処理場の微生物への有害な影響はないと考えられます。この物質は良分解性には該当しませんが、水への溶解性が低く、また生物学的利用能が非常に限られているので、環境への悪影響はないと考えられます。また、PBT/vPvB には該当しないことから、食物連鎖における濃縮は起こらないと考えられます。

アセスメント項目	結果
水生毒性	水溶解度の範囲において、有害な影響は観察されません。
生分解性	良分解性には該当しません。
PBT / vPvB 注)	PBT/vPvBには該当しません。

注)

PBT = Persistent, Bioaccumulative and Toxic (残留性・蓄積性・毒性を有する物質)

vPvB = Very Persistent and Very Bioaccumulative (高残留性・高蓄積性を有する物質)

6. 暴露

消費者

KAO WAX EB-P は、家電、電気電子製品・部品、日用品、文具、家具や自動車部品などの様々な樹脂成型品に使用されます。これらの樹脂成型品からこの物質が溶出することはほとんどないと考えられるため、KAO WAX EB-P の暴露は、消費者にとって安全なレベルであると考えられます。また、この物質に関するいずれの毒性試験においても有害な影響は認められていないことから、これらの用途での有害な影響は懸念されません。

作業員

KAO WAX EB-Pの生産設備や多くの取り扱い設備では、この物質による暴露が発生します。また、この物質を取り扱うメンテナンス、サンプリング、テストや他の作業においても暴露されます。教育を受け訓練された作業員のみが、（希釈されていない）この物質を取扱います。各製造設備では、不必要な暴露を避けるためにゴーグルや手袋などの安全防具の設置と共に、作業員向けの訓練プログラムや適切な作業手順を定めています。安全シャワーや眼を洗う設備はすぐそばに設置されています。作業員はSafety Data Sheetに記載されている応急措置に従う訓練を受けることが求められます。

環境

消費者用樹脂成型品の使用に伴うこの物質の排出はほとんど無いと考えられます。また、製造、準備・取扱い・貯蔵、使用など工業的に取り扱う場所からの排水処理施設への排出もほとんど無いと考えられます。実施されたいずれの毒性試験においても、KAO WAX EB-Pの水生物への有害な影響は観察されていません。また、食物連鎖による濃縮も懸念されません。そのため、特定されている全ての用途で環境に対する悪影響は懸念されないと考えられます。

7. 推奨リスク管理措置

化学物質を使用する際には、適切な換気がなされていることを確認して下さい。手や皮膚の保護のために適切な耐化学薬品手袋を常に着用し、眼の保護具を装着して下さい。化学物質の取扱い、処理、保管をする場所では、飲食・喫煙をしないで下さい。化学物質に接触した後は、手や皮膚を洗って下さい。皮膚（または髪）に付着した場合、多量の水と石鹸で洗い、汚染された衣類を脱いでください。皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けて下さい。眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗い、次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けて下さい。直ちに医師に連絡して下さい。

この物質を含む排水は、この物質を除去するため、排水処理設備を通さなければなりません。大気中への放出は予想されないため特別な措置は必要ないと考えます。

8. 法規制情報/分類・ラベル情報

GHSに基づき、化学物質はその物理特性、ヒト健康、環境への危険性に従って分類されています。この危険性の情報は、工業製品では、特定のラベルとSafety Data Sheetによって伝達されています。GHSでは化学物質の暴露が想定される対象者（作業員、消費者、輸送業者、緊急時の対応者）が、扱う化学物質の危険性をより理解ができるように努めています。

分類・ラベル情報

KAO WAX EB-Pは、GHSラベル要素の絵表示またはシンボルは該当しません。

注意喚起語：該当しない

製造、販売、輸送、使用、廃棄に関わる法令は、国や地域によって異なります。詳細についてはサプライヤーから提供されるSafety Data Sheetを参照して下さい。

9. 結論

KAO WAX EB-Pは、ヒト健康や環境生物に有害な影響を及ぼす懸念はないと考えられます。さらに、PBT/vPvBの評価結果から、この物質はPBT/vPvBには該当していません。この物質そのものを取り扱う作業者は、標準的な安全管理手法に従い、**Safety Data Sheet**を参照する必要があります。

10. 連絡先

この物質・安全性要約書に関する、詳しい情報については以下にお尋ね下さい：

会社名、部署	花王株式会社、ケミカル事業ユニット
電話番号	03-5630-7601
ファックス番号	03-5630-7964
電子メール	chemical@kao.co.jp

追加・関連情報に関しては国際化学工業協議会のポータルをご覧ください。

(<http://www.icca-chem.org/>)

11. 用語集

急性毒性	単回暴露による有害な影響
生分解性	環境における物質の生物学的分解性
生物濃縮性	環境における物質の濃縮性
発がん性	がんを引き起こす作用影響
慢性毒性	繰り返し暴露による有害な影響
GHS	化学品の分類と表示に関する国際調和
ハザード	ヒト健康や環境への有害性
変異原性	遺伝子に変異をもたらす影響
生殖毒性	催奇形性、胚毒性及び、繁殖性への有害な影響
感作性	アレルギー誘発性

12. 発行日

2016年12月20日